

## 事業多角化、拠点開設にメリット

### 介護事業など買収意欲高まる

九州経済産業局から福岡商工会議所が委託を受けて12年2月に開設した福岡県事業引継ぎ支援センター（福岡市博多区博多駅前2丁目）を統括する中小企業診断士・河



河合慶司  
福岡県事業引継ぎ支援センター  
統括責任者 中小企業診断士

合慶司さんは「特に成長分野に関して事業の多角化に意欲的な企業が多い」と傾向を語る。

同センターでは、県内をはじめ九州一円の企業を対象に無料で相談を受け付けており、昨年12月までに計54件の相談が寄せられたという。売買の内訳は、売却希望が18件、買収希望が22件、その他の経営に関する

相談が14件。特に介護事業など成長市場に関する買収希望が多いという。この傾向について河

合さんは「経済情勢が未だ不安定な中で、事業の柱が1本のみでは危ないと危機感を持つ経営者が多い」と景況の影響を指摘する。

また、拠点開設の際の戦略として、進出を考えている地域に拠点を持つ企業を買収するケースもある。その地域に土地勘

のある人材とノウハウを得られることは、拠点の拡大においてもメリットとなる。

業種はさまざまだが、特に超高齢化社会の到来を背景に注目を集めている介護関連事業は、施設や住宅、介護用品、サービス、食に関する分野など多岐にわたる。専門的なノウハウと既存事業を融合させることで、展開の可能性が広がる分野でもある。